

政党助成金の奪い合い おおさか維新には託せません

5月の住民投票で敗れて「政治家引退」を表明した橋下市長。その後、8月には維新の党を自ら離党したものの、今も続く維新の党の内紛と政党助成金の分捕り合戦を後ろで操っています。政界に混乱をもたらすおおさか維新に大阪の未来は託せません。



税金争奪をめぐる醜い争い

「維新の党は割らない」と表明した翌日に態度を豹変した橋下市長。その意向を受けた大阪系が政党助成金の分割を求めて分党協議を行います、東京系に断られます。

10月には6億6千万円もの政党助成金が維新の党の銀行口座に振り込まれることをめぐって、通帳と印鑑の奪い合いが生じました。

メディアが「税金争奪をめぐる醜い争い」と報じると、急ぎよ、橋下市長が「国庫に返す」と主張をはじめます。

離党した橋下市長が指令?!

橋下市長は、「維新の党をつくった者の責任として維新の党を解党し支払いを終えて残ったお金は、国庫に返納することを決めました」「維新の党は日本の国にとって百害あって一利なしです」とツイッターでつぶやきます。

離党した人物の意を受け、大阪系の議員たちは臨時党大会なるものを開いて維新の党の解党を決定(橋下市長は大会会場をモニターで監視)。正当性を主張して内紛はいっそう泥沼化しています。

政務活動費の不正も

ゾロゾロ

- 小林由佳堺市議
「架空のビラ代1000万円」を不正取得
「維新」の堺市議が、「架空の政治活動ビラ」の代金1000万円を政務活動費として不正取得。堺市長は「詐欺罪や公文書偽造罪での刑事告訴も視野に検討」と述べています。
- 伊藤良夏大阪市議は高級車「レクサス」購入に政活費
- 梅園周大阪市議は英ダイソン社製高性能掃除機を購入
- 今井篤大阪市議は大学の入学金に支出
- 丹野壮治大阪市議は電動アシスト自転車購入

(肩書はいずれも当時)

「住民投票」で約6億5千万円の借金

「都構想」の住民投票で、CM料金など約5億円、運動員の全国動員費用・約1億5千万円の合計約6億5千万円の借金があると報じられています。

「あまった分は国に返す」といっても、ほとんど返納できるお金は残りません。維新の党(東京系)の江田前代表は「格好つけ」と批判しています。

「身を切る改革」「税金を国庫に返す」など、ブラックジョークでしかありません。

金権住民投票

5月の住民投票のことを思い出してください。連日のテレビコマーシャル、新聞折込みチラシ・広告、8ページ建てカラー印刷パンフレット、全国からの大量の宣伝カー、インターネットでの広告、橋下市長の音声録音の無差別電話……その支払いは税金で、ということです。許せますか?!



広がる共同の声



金や権力に屈せず 前進させよう

えらいこっちゃん 会事務局長
池田 裕子さん

今、「維新」と反維新の大阪秋の陣がたたかわれています。私達には金も権力もない。しかし、金や権力に屈しない魂と連帯の力があります。私達は一からスタートしているのではなく、春の陣のたたかひの土台の上に、新たな地平の上に、このたたかひに挑んでいます。大阪を独裁者の手から取り戻しましょう。